

茨木市文化振興財団ダンスプロジェクト 2019

変身

ワークショップ @ 茨木



カフカの“変身”から生の揺らぎを考える。

2019. **2.2** [土] 10:00 - 15:30

茨木クリエイトセンター2階・多目的ホール

主催：公益財団法人茨木市文化振興財団 後援：茨木商工会議所／茨木市観光協会

変身

ワークショップ@茨木

カフカの“変身”から生の揺らぎを考える。



ダンサーで振付家の砂連尾理は、近年、ダンサーとの舞台活動だけでなく障害のある人や高齢者、そして妊婦など、いわゆるダンス経験のない方たちとの身体を使ったワークショップを展開しています。

この度、茨木では、カフカの代表作である“変身”をテキストにして「変身」をテーマに、生きていく中で起こってくる様々な変身エピソード、例えば怪我や老い、障害、性などについて語り合い、その対話を身体表現へと転換して行きます。

生の揺らぎの中で起こる様々な変化、変身を改めて見つめ直すことで、私たちの生や他者に対する眼差しは一体どんな変化が起こってくるのでしょうか？

内容

午前：主にカフカの言葉からダンス創作をする時間。

午後：参加者それぞれの変身エピソードからダンス創作をする時間。

最後に簡単なショーイングと振り返り会を行います。

講師：砂連尾 理 じゃれおおさむ／ダンサー・振付家

大学入学と同時にモダンダンスを始める。1991年、ダンサー寺田みさことのダンスユニットを結成。02年、「TOYOTA CHOREOGRAPHY AWARD 2002」にて、「次代を担う振付家賞」(グランプリ)、「オーディエンス賞」をW受賞。04年、京都市芸術文化特別奨励者。近年のソロ活動では、ドイツの障がい者劇団ティクバとの「Thikwa+ 循環プロジェクト」(ドラマトゥルク:中島那奈子)から共に踊る相手の層を広げ、京都・舞鶴の高齢者との「とつとつダンス」及び「とつとつダンスpart2- 愛のレッスン」では、ダンスから介護への視点をなげかけている。初の著作「老人ホームで生まれたとつとつダンス」ーダンスのような、介護のような」(晶文社)を発売。創作の際の言葉が鷺田清一「折々のことば」/朝日新聞連載で紹介されている。立教大学 現代心理学部・映像身体学科 特任教授。

公式サイト：<http://www.osamujareo.com>

- 日 時：2019年2月2日(土) 10:00～15:30 (9:45 受付開始)
- 会 場：茨木市市民総合センター (クリエイトセンター) 2階・多目的ホール
(茨木市駅前四丁目6番16号 / TEL 072-624-1726)
- 講 師：砂連尾 理 (ダンサー・振付家)
- 受講料：1,000円 ※当日会場受付にてご精算いただけます。
- 定 員：20名
- 対 象：小学生以上 ※経験不問 ※お子様連れ、身体の不自由な方もご参加いただけます。ケアが必要な方は事前にご相談ください。

お申込み・お問合せ

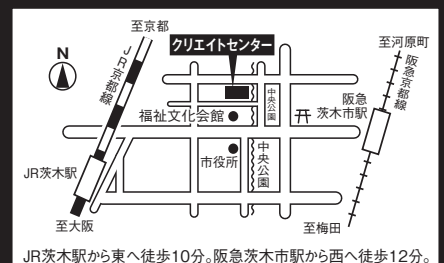
茨木市文化振興財団・文化事業係 072-625-3055 (9:00-17:00)

12月4日(火) 9:00から電話・インターネットにて先着順受付。 <http://www.ibabun.jp>



<お願い事項>

- ◎動きやすい服装、タオル、水分補給の飲み物をご持参ください。
- ◎会場は土足禁止のため、上履きをご用意ください。裸足でも結構です。
- ◎更衣室、ロッカーはございます。
- ◎昼休憩を挟みます。昼食は各自ご用意ください。食事部屋はご用意します。
クリエイトセンター 1階 [喫茶ローズ]には軽食もございます。



JR茨木駅から東へ徒歩10分。阪急茨木市駅から西へ徒歩12分。